

## テーマ

学生カルテを利用した教職員の学生支援

## 「みちびき」

第1分科会第2班

## 目的

- 成績不振及び出席率の低い学生を早期発見し、退学を防ぐ。
- 関係部署が情報共有して指導していくことにより、教育効果の向上を図り、学生生活をサポートする。
- 進路指導記録を確認することで、さまざまな立場から指導ができる体制を整え、キャリア形成につなげる。

## 学生カルテの運用項目1

### • 基本情報

基本情報
氏名、学籍番号、住所、連絡先、
保証人氏名、住所、連絡先
メールアドレス
携帯アドレス、誕生日
性別
出身校
入学経歴(教育実習履歴)

## 学生カルテの運用項目2

### • 付加情報とアクセス権

	参照		書き込み		コメント
	職員	教員	職員	教員	
奨学金	○	○			
成績の履歴、履修状況、GPA、成績順位	○	○			
入試区分	○	○			
進路希望内容、就職活動状況	○	○			
授業出席状況	○	○			
学籍の異動	○	○			
課外活動(クラブ、ボランティア活動)	○	○			
寮の利用有無	○	○			
指導記録(学籍、学修指導、学納金、一身上の相談)	○	○	○	○	ただし、学生相談室カウンセラーとの相談内容は除く 情報の内容による 閲覧内容を権限ごとに差をつける 備考欄に必要に応じて記入する 不要
アルバイト状況					
家族構成、保証人の勤務先					
緊急連絡先	○				教員からの連絡がトラブルに発展する可能性が 懸念されるため
要支援(障害、病歴)、学生情報	○	○			本人の了承を得た内容
高校からの調査書情報					個人情報の利用目的の観点で削除
入力者、入力日時	○	○	○	○	
相談者、対応した教職員情報	○	○	○	○	
賞罰記録	○	○			
指導教員名	○	○			
基礎学力情報	○	○			
適性検査の情報	○	○			
健康診断受診の有無	○	○			

## メリット

教職員の情報共有化促進。

情報集約ができる。

検索ができる。

履歴が取れる。

統計が取れる。

入試種別ごと。  
学部ごと。  
就職活動をしているか。  
時期別の質問把握。  
教職員の資質向上。

## 課題と解決方法

課題	解決方法
費用をかけて導入するメリットがあるか？	退学になりそうな就学意欲のない学生を減らす。 導入することで、今後に役立てる。 ↓ 費用面のリスクはやむをえない。
教員の協力を得るためには？	目的を明確にして、教員に利用を促す。 上層部から、の命令。(学長から) 学生カルテの便利さをアピール。
教員一人当たりの学生数が多く教員の負担となり活用してもらえない。 体制面の配慮が必要。	教員の受け持ち学生数を減らすし、教員の負担を減らす。
セキュリティ上の危険性もある。	利用者制限、アクセス制限、 利用者モラルの研修を実施する。

## まとめ

学生カルテを使う環境を作る。



教職員の指導記録を入力し情報を共有する。



教職員みんなで学生を支援し、学生生活に対する  
意欲を高める。



最終的には学生自らが考えて、行動できるように  
みちびく。